

桜を枯らす外来カミキリにご注意

県内で特定外来生物クビアカツヤカミキリが確認されています。このカミキリはサクラ、ウメ、モモ、スモモなどのバラ科樹木の幹や枝の中を食い荒らします。木を弱らせたり、枯らしてしまうことがあるため、**お花見ができなくなったり、果樹の生産に被害がでる**おそれがあります。

退治と情報提供にご協力をお願いします

【成虫】

- ・光沢のある黒色
- ・胸部(クビの部分)が赤い
- ・体長は2~4cm
- ・発生時期:6月から8月

成虫は踏む等して
退治を！



(飼育は法律で**禁止**されています)

【フラス】

- ・幼虫の排泄物(フンと木くずが混じったもの)
- ・幼虫に寄生された木から排出される
- ・形はかりんとう状



フラス(拡大図)



県内で成虫やフラスが出ている木を見つけたら、発見場所などを市町村環境担当課又は埼玉県環境科学国際センターへ連絡をお願いします。

また、クビアカツヤカミキリについてもっと知りたい場合は、環境科学国際センターのウェブサイト「クビアカツヤカミキリ情報」を御覧ください。

埼玉県 クビアカ



お問い合わせ・御連絡
埼玉県環境科学国際センター:0480-73-8370
北本市市民経済部環境課環境政策・保全担当 048-594-5524(直通)

